

まちの目記帳



小樽海上保安部とダイバーが協働 美国漁港で合同救助訓練を実施

6/30

海辺でのレジャーが本格化するシーズンを目前に控え、小樽海上保安部と北海道スキューバダイビング安全対策協議会（池田欽也会長）は美国漁港内で合同訓練を実施しました。

この合同訓練は潜水・救助技術の向上を目的に年1回程度実施されているもので、今回は巡視艇「ほるべつ」に所属する潜水土や乗組員、同協議会に所属するダイバーなど計33名が参加し、行方不明者の捜索や救助などを想定した訓練を行いました。



北しりべしの魅力を伝える 手稲駅「あいくる」でPR活動

7/1

7/2

2日間にわたり、北しりべし5カ町村が手稲駅「あいくる」で各町村のPR活動を行い、積丹町からも観光協会や町職員などが参加し、特産品のPRやパンフレット配布などを行いました。

このイベントは「北しりべし圏域PR推進事業」として、各自治体の夏季のイベントPRを通じて、札幌圏の住民へ広く北しりべしの魅力をPRし、交流の活性化を図ることを目的として行われています。

訪れた方々は、各町村による熱心な観光案内などを受け、来訪への意欲を高めているようでした。



故郷の祭典を楽しむ 「札幌しゃこたん会」周遊ツアー

7/5

札幌とその近郊に居住している積丹町出身者で構成される「札幌しゃこたん会」（三上初夫会長：会員78名）の恒例行事「積丹周遊バスツアー」が開催され、28名が来町しました。

毎年、7月の第1土曜日に行われているこのバスツアー、今年は美国神社例大祭と重なったことから、同会のみなさんはみこしや山車、迫力有る天狗の火潜りなどを観覧し、懐かしい故郷の祭典の健在ぶりに喜んでいました。

夜には懇親会が開催され、松井町長と佐藤議長らが駆けつけ、思い出話に花を咲かせていました。



離乳食の重要性を学ぶ 「離乳食教室」が開催

7/10

妊娠期から1歳未満の子どもがいる家族を対象とした離乳食教室が総合文化センターで行われ、6組の親子が参加しました。

今回も講師には在宅栄養士の神山悦子さん（余市町）を迎え、お母さんたちは赤ちゃんに離乳食が必要な理由や、離乳食を食べさせる際のポイントなどを学びました。

また、実際に「コーンフレーク粥」や「ほうれん草と麩のトロトロ煮」など12種のレシピが紹介され、お母さんたちはわが子の成長に大切な役割を担う離乳食の知識について熱心に学んでいました。



往年の名車に歓声上がる 北海道クラシックカーラリー2014

7/12

札幌市から小樽市、積丹半島をめぐり、道央圏を回って札幌市へと戻る「北海道クラシックカーラリー2014」が開催され、チェックポイントとなった神威岬には多くの観客が詰めかけました。

このイベントには全国各地から1929年製から1978年製までの時代を彩った往年の名車約30台が参加し、観客からは熱い歓声が飛んでいました。

また、参加者には町観光協会が積丹町産の塩ウニと海苔で手作りしたおにぎりが配布され、参加者は美しい景色だけでなく、食でも積丹町の魅力を堪能しました。



音楽の楽しさを学ぶ 小学校芸術鑑賞会が開催

7/16

小学校芸術鑑賞会が美国小学校体育館で開催され、「ひのき屋 わいわい音楽隊！」を招いて音楽について楽しく学びました。

今回の観賞会では演奏を聴くのみではなく、演奏者と同じリズムを叩く「まねっこ太鼓」や、太鼓の上にピンポン球を置いて太鼓を叩く「ピンポン玉実験」など、児童が参加する場面も多数設けられ、児童は興味津々な様子で積極的に参加していました。

また、全員で声を出しながら踊る「ねぶた踊り」では児童や教師が一体となって楽しむなど、参加者は充実した時間を過ごしました。



まちの日記帳